

「香川県南海トラフ地震・津波対策行動計画」に係る評価の概要

令和2年8月

1 評価の目的

平成30年3月に策定した「香川県南海トラフ地震・津波対策行動計画」（以下「本計画」という。）について、毎年度、各事業の進捗状況を把握し、効果を検証することにより、本計画に基づく防災・減災対策を着実に推進する。

2 評価方法

各事業の中で具体的に計画されている各「目標」について、令和元年度における達成状況について把握し、その進捗率について、次のとおり評価を行った。

【達成状況（進捗率）の評価方法（原則）】

A：令和元年度実績で進捗率が 66.6%以上※

→おおむね順調に推移している。

※66.6%以上の考え方：令和元年度は計画期間3年間（平成30～令和2年度）の2年目であるため、2/3（66.6%）以上進捗していれば、「A」評価とする。

B：令和元年度実績で進捗率が 66.6%未満で33.3%以上

→順調ではないが計画策定時より一定程度進展している。

C：令和元年度実績で進捗率が 33.3%未満で0%超

→順調ではないが計画策定時より少しは進展している。

D：令和元年度実績で進捗率が 0%

→計画策定時より進展していない。

—：統計の調査年度等の関係で評価ができないもの。

【例】

行動項目1 県民一人ひとりの取り組みを呼びかける啓発活動を行う。						
事業名	担当課	取組み内容	目標	実績値 (H30+R1年度)	目標値 (H30~R2年度)	評価
③地域防災力強化促進事業	危機管理課	県民いっせいで地震防災行動訓練（香川県シェイクアウト）を実施する。	毎年度実施する。	2	3	A

↑
実績値が目標値の
2/3以上であれば「A」

3 評価結果

(1) 行動計画体系ごとの進捗度 **別紙1**

(2) 各事業の評価一覧 **別紙2**

4 今後の方針

令和元年度の達成状況が順調であった事業については、今後も継続的に事業を実施するとともに、達成状況が低調であった事業については、重点的な事業の遂行を図り、本計画の目的である「人的被害をゼロに近づける」よう努めるものとする。